


グループホーム 望海荘

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		「やさしさをもって共に生きる」を職員意識の基本とし、利用者及びその家族をはじめ地域関係において、敬愛や融和を念頭に地域との連携をおこない互いに希望の持てる社会作りを行う。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		新規採用時管理者による理念の説明及び毎日法人全体朝礼により基本理念の唱和を継続している。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		定期的に地域運営推進会議及び広報誌「ひだまり」により伝えている。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		法人全体の行事「文化祭等」により交流を行うと共に地域行事への参加、地域学校の体験学習の受け入れ、また常時の施設見学、利用者への訪問受け入れを継続して行っている。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		デイサービスで地域利用者(毎朝)との交流を継続している。

グループホーム 望海荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議にて地域の代表者及び民生委員の参加を頂き認知症について話し合いをもち、理解を深めている。</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価を頂いたところは検討し改善できるところは行うことを継続している。</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>現在取り組んでいる内容等の報告を行ない、意見を頂くようにしている。</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市福祉事務所の地域ケア会議へ法人としての参加を継続しており他施設、在宅介護者の処遇等の情報交換を行うと共に保険者とし当運営推進会議にも参加を頂き交流を行っている。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>職員の全体会議等において機会あるごとに資料などを参考に理解に努めている。</p>		
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>職員の全体会議等において機会あるごとに資料などを参考に理解を行い防止に努めている。</p>		

グループホーム 望海荘

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時、重要事項説明書にて説明し、疑問点については充分説明を行い同意を得るように努めている。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族等が面会時、運営推進会議出席時、利用者の要望等を代弁できる機会を設けている。また、常時意見箱の設置を行っている</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時、日誌等の閲覧等を通し利用者の状況等を話し合っている。容態の変化については、その都度家族に連絡。必要時は受診に同行を頂いている。金銭に付いて毎月預り証(残高記載)の発行にて確認を頂いている。担当職員異動のときは随時紹介を行っている。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情受付体制の設置を行い、重要事項説明書の中にもその概要を記載し説明を行っている。また、運営推進会議参加時には意見交換も行っている。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>定期的職員会議を行い、意見、提案を聞く機会を設けている。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>法人全体で調整を行い状況、変化に対応できる体制に努めている。</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>なるべく固定化が継続出来るよう配慮を行っている。</p>	

グループホーム 望海荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。</p>	<p>募集は公募を行い希望者に付いてはすべて面接を行い採用時の基準として年齢・性別等で判断はしていない。</p>		
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p>	<p>定期的会議において該当資料等をもとに話し合いを行っている。</p>		
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人全体で年間を通して内部研修計画をたて実施を行っている。また、その他外部での研修の機会を設けている。</p>		
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者及び職員は京築地区の他施設との交流会議(月1回)を継続しており、運営面、サービス面等に関して質の向上に努めている。また、全国老人福祉施設協議会加入を継続しておりその組織での交流の機会の確保に努めている。</p>		
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>慰安旅行、親睦会等の定期的実施、業務上、個人的問題について相談できる体制(リーダー チーフリーダー 管理者)を継続して行っている。</p>		

グループホーム 望海荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者、管理者共に現場に頻繁に出入りしており、業務上での相談等なるべくリアルタイムでおこなっており、その場で一緒にできる環境にある。また、その相談等を通し勤務状況等の把握している。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面談において現状の生活状況、生活上の問題点、今後の意向等を聞き、状況によっては、体験にて通所サービスを利用していただき、既利用者、職員との交流を行っていただくことを続けている。		
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族と面接時充分話し合い、利用しようと思う経緯や現状生活上での困っていることを聞き、今後の対応等を相談している。		
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談の状況(本人の心身の状態、本人、ご家族の意向等)を踏まえその状況によりその他のサービス事業者、居宅介護支援事業者等との連携を行い、他のサービスにつなげている。		
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	すぐに利用してもらおうのではなく、事業所の見学を始め、なるべく通所介護より利用をしていただき、事業所内の既利用者、また職員との交流等を重ねられるよう配慮を行い、安心して在宅から移行できるよう努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	共に生きるを職員のスローガンとし互いに協働しながら生活が出来よう日々コミュニケーションをとるよう努めている。		

グループホーム 望海荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	訪問の際、利用者の現状の生活状況等話し合うことにより情報の共有を行い、協力関係を築けるように努めている。		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族、本人の状況を踏まえた上で外泊の支援を行う、また、随時訪問の出来る雰囲気作り、面談のできる配慮を継続して行っており、近況の変化等に付いても必要時はその都度相談、報告を行うようにしている。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前利用していた施設の隣人、知人、デイサービス利用時の知人等との交流の支援を継続している。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の関係また、個々の心身の状態、気分、感情等の特徴を理解し、コミュニケーションをとりながら見守をおこないその時の状況にあわせ職員が調整役となり支援を行っている。		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	文化祭等おおきなイベント時案内状を送付させていただくことを継続して行っており、参加も頂いている。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で日常会話等を通し把握するように努めている。また、ご家族や利用前のサービス事業者、施設関係者からも情報を得るようにしている。		

グループホーム 望海荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用前に他のサービス、施設を利用していた場合はその関係者より情報を得る、また、ご家族を始め、可能であれば本人から得るようにしている。		
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の暮らしの関わりのなかで、個々の行為、行動、動作等を共に行い把握するように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日々のかかわりの中で本人の思い等の把握に努め成るべく(実現可能な是非の検討を含む)反映するように努めている。		
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	一定期間での見直しを基本としているが、期間内において心身の状態を始めその他病状等変化の場合はその都度話し合いのもと変更を行っている。		
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ファイルにて、食事、水分、排泄、入浴、バイタルその他日々の状況を記録を継続して行い、職員間の情報共有を行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	受診は主治医往診を基本としているが、その都度の容態の変化によりご家族、主治医と相談のうえ、随時通院介助(受診、送迎)をおこなっている。		

グループホーム 望海荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	法人役員(地域民生委員、老人会役員、区長)等の訪問を頂き、意見交換の機会を設けている。		
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	法人内の居宅支援事業所を解し、その他法人外の施設、事業所、居宅支援事業者との連携を行い意向があれば紹介、連絡調整を行っている。		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に参加を頂いており周辺情報の交換、その他協力関係の構築に徐々にではあるが努めている。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本として利用前の主治医の変更はしないようにしており、必要があり変更する場合は本人、ご家族の意向にそえるようにしている。また、受診に付いては、往診を基本としているが、必要時は随時希望の病院へ通院介助を行なっている。		
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	各利用者の主治医を通して相談をし、治療につなげている。また、困難な場合は、主治医より紹介をいただけるようになっている。		
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	当事業所の看護職員が主となり、基本的な日常の健康管理を行ない、緊急時等には併設施設の看護職員も応援に来る体制を整えている。		

グループホーム 望海荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入退院に関して、情報の共有や連携を行っている。		
49	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	当事業所の方針は「介護が必要な状態は、重度になっても介護を行なっていく。医療行為が必要な状態は、医師へ相談する。」であり、入居の際には、説明を行なっている。入居後、病気等が重症化した際に、状態に応じて、家族や医療機関と連携を取り、本人にとってより良い対応を心がけている。		
50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	かかりつけ医・家族・職員間で本人の状態に応じた、事業所で出来る事の把握に努め、急変時の連携体制を取り、本人の状態について詳細な連携を図ることで、皆が周知するようにしている。		
51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	現状の生活状況、心身の状況等、その他必要な情報の提供・収集を行っている。		
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
52	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシー保護・個人情報保護についてのマニュアルを整備しており、加えて施設内研修も行うことで、実際の場面で自尊心を傷付けない対応や、個人記録の取扱いに反映させている。		

グループホーム 望海荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者それぞれの状態に合わせ問いかけを行い、その時の表情や反応により、日常生活全般の場面場面の意向を確認し、その対応をおこなっている。		
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日課を基本にしているが、利用者のその日の精神的・身体的な状態や容態にあわせ希望に沿った支援を心がけている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	行きつけの理・美容室へ行っていただき、本人の好みの格好をしていただくようにしている。また、毎日整容の援助を行っている。		
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と一緒に調理や片付けを行っている。		
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	日ごろより利用者の好みを把握し、献立表に反映するようにしている。		
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄パターンや習慣、頻度等を把握し、トイレへの誘導を基本とし排泄の失敗やおむつの使用を減らす努力をしている。		

グループホーム 望海荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴すること自体を覚えていない方も多いため、そのような方へは、職員がお声掛けをしている。自分自身で希望を言える方へは、なるべく希望に近いタイミングで入浴できるように努めている。		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者個々の習慣、その日の状態に応じ、希望に応じ休んでいただいている。また、昼食後は休息を兼ね昼寝の時間をとっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常生活の中でその日の役割を持っていただき職員がそれぞれ一緒に行い生活を送っていただいている(掃除、洗濯物干、取り込み、調理、後片付け、花生け等)		
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	必要時にその都度、少額の金銭を渡して行っている。		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	その日の天気や利用者の気分にあわせ、その都度歩行見守り、車椅子を使用し散歩に出かけたり、畑で取れた野菜等の仕込み等行なわれている。		
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	四季折々に花見などおこない出かけるようにしている。また、ご家族と絵画の展覧会に出かけたり、自宅にて家族と共に外泊されたりしている。		

グループホーム 望海荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	季節の節目に直筆で書状を出していただいている。また、かかってきた電話の対応もしていただいている。		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問時他の利用者に気兼ねなく過ごしていただけるようその場所を整え、お茶等の接待をおこなっており、訪問時間も定めていない。		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルを整備し、施設内研修を開催し、各々にその内容を職員が周知するようにしており、身体拘束について点検している。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日常生活において利用者一人々のその日の気分や状態を察し、見守りを行っている。また、日中は全ての扉等開放している。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日勤帯は、職員がホールを空けないように徹底している。夜勤帯には、利用者が過ごすホールにて記録等を行いながら、利用者の状況を把握するようにしており、夜間は1時間毎に様子の確認をそっと行い、起きたときはすぐに対応が出来るよう居場所等工夫をしている。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の状態に応じ包丁、はさみ、針等は使用していただいているため、毎日必ず点検を行なっている。		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	利用者一人ひとりの心身の状態を把握し予防に努めると共に、マニュアルを作成し、施設内研修を行なうことで周知を行っている。		

グループホーム 望海荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	消防署の救急隊員を招き、「緊急時について」「応急処置について」などの研修を行い、所轄の消防署の指導により、年2回の避難訓練も行っている。		
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策のマニュアルを作成。また、避難訓練を行っている。また、地域には運営推進会議等を利用して、災害時の協力の約束ももらっている。		
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	利用者一人ひとりに起こりうるリスクについては、面会時日ごろの状態などのお話をさせていただくなかで説明を行っており、場合によってはその都度連絡等を行い、成るべくノーマルな生活を送っていただけるようにしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日々、看護職員によるバイタルサインのチェックを行うと共に、介護職員、併設施設の看護職員、主治医との連携もとり、多くの目で早期に異変を発見できる体制を取っている。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護職員が主となり、担当職員も、現在処方内容を把握しており、服薬介助、内服確認を行っており、服用による変化に関しては往診時また、必要時医師と連携をとっている。		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日の運動(朝の健康体操等)を行い予防に努めている。また、水分摂取量を把握することで、便秘の予防にもつなげている。		

グループホーム 望海荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後口腔ケア(利用者の状態に応じて)を行い口腔内の清潔を保てるようにしている。また、必要時は歯科の受診をおこなっている。		
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の献立により食事をつくっており、摂取量(水分も含む)の確認、記録を行っている。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを整備し、施設内研修を行い、その内容を職員が周知できるようにしている。		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用具の洗浄、消毒など随時行い、台所の清掃は毎日行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周には、四季折々の花などを配置し、親しみやすい雰囲気作りをしている。		
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、ホールなどは、季節に応じた飾りつけを随時利用者と一緒に、BGMは心地よい音楽などを流すよう配慮している。		

グループホーム 望海荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室、ホール内、ベランダにそれぞれ、座卓やソファ、椅子・テーブルなどを配置し思い思いに過ごせるよう工夫している		
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者が利用前より使用していた家具、身の回り品などを持参していただくようにしている。		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	その日の状態により適度に換気を行っており、利用者の状態に配慮しながらエアコンの調整をこまめに行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室内のトイレ、ホールに手すりの設置、フロアは段差がないようにしている。また、必要に応じ夜間ベッドからの転落の可能性のある方へは、床に畳を敷き就寝していただく等の工夫をしている。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	日常生活上利用者一人ひとりについて分かること、分からないことの把握を行い、その状態にあわせて環境を整えている		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の外回りにベンチなどを設置したり、プランタなどに花を植え配置し楽しめるようにしている。		

グループホーム 望海荘

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

グループホーム 望海荘

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
100	職員は、生き活きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

当事業所は、小高い山の上であり雄大な周防灘や緑が望め、入居者の皆さんや地域の方々、見学にいらっしゃった方々も施設からの眺めに感動されています。入居者の中には、「良い景色を眺められ、おいしい空気を吸って生活できて、長生きできます。」とおっしゃってくださる方もいるほどです。また、施設の庭には、果樹園や野菜畑、茶畑、花壇などもあり、入居者の方々で好きな方はいつでも土いじりや花を摘むことができます。季節に応じた花を見ながら生活でき、季節に応じた取れたての野菜や果物を年間通して、召し上がっていただいています。

施設内は、掃除が行き届いており、常に季節の花が施設内の至る所で見ることができ、季節に応じた飾りつけも入居者の方々と職員が和気藹々で行なっております。施設のモットーが『共に生きる』であり、入居者の方々と職員がいつも共にしています。喜びも悲しみも共に分かち合えるような関係を築けるように、職員は日々努力しています。とても和やかな雰囲気、入居者の皆さんや職員に笑顔が溢れ、安心して暮らしていただける施設です。